

会議結果報告書

1 会議の名称

平成30年度光市文化財審議会

2 開催日時

平成31年3月19日（火）13:30～15:30

3 開催場所

光市教育委員会1階ホール

4 出席者

- ・光市文化財審議会委員 9人
- ・事務局 4人

5 公開・一部公開の別

公開

6 会議の議事録（要点）

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 委員紹介
- (3) 会長・副会長の選任
- (4) 平成30年度事業実施報告

事務局からパワーポイントを用いて以下の事業について報告

- ア 文化財保護事業
- イ 文化財活用事業
- ウ 伊藤公資料館関係事業
- エ その他

《質疑》

○委員

- ・西日本豪雨後の状況確認などについて、指定文化財については理解したが、未指定の文化財について、水に浸かってしまったなどの相談はあったか？

○事務局

- ・未指定の文化財についての被害相談等はなかった。

○委員

- ・各家庭にも、貴重なものがあると思うが、これらを伝承することについての呼びかけも必要ではないか。

○委員

・伊藤公資料館へのVR設置は素晴らしいことであると思う。大いに活用してほしい。

○委員

・旧礪乃屋について、今後の活用方法などの相談はあったか。

○事務局

・これまでのところ、具体的な相談等はありません。

○委員

・向山文庫は、現在、どのような状況になっていますか。

○事務局

・所有者および関係者による周辺整備等が行われておりますが、県外に居住のため、常時の管理は行われていない状況となっている。

○委員

・換気等を行わないと、害虫被害などの恐れがある。留意いただきたい。

○委員

・私の住んでいる地域（塩田）では、住民が減っており、せっかく指定されていても伝承が難しくなっている。後継者の育成が一番の悩みである。今後、教育委員会から支援等があればと思う。

○委員

・先ほどの説明に児童・生徒への伝承や授業等の様子があったが、続けていってほしい。

○委員

・様々な学会等でも、後継者不足は問題である。積極的に賞を設置し、若い世代の育成の一助とするところもある。いずれにしろ、様々な研究を認めることや評価することが必要ではないか。

(5) 議事

ア 文化財行政に係る今後の取組みについて

○事務局

・今後も発生が懸念される集中豪雨等、自然災害への対応について、先ほども説明をさせていただいたが、ご意見を賜りたい。

また、このたび文化財保護法の改正が行われ、平成31年4月1日施行される。未指定を含めた文化財を、まちづくりに活かしつつ、地域社会でその継承に取り組んでいくことが必要となる。今後の取組みとして、これまで収集している資料等のデータベース化を行うとともに、指定文化財の保存活用および郷土の歴史・ゆかりの先人の調査を行っていきたいと考えている。

○委員

・文化財の保護については、経費が必要となる。市からの補助等はあるのか。

○事務局

- ・補助する制度はあるが、予算化することについては、個別に検討することとなる。

○委員

- ・データベース化にあたって、現状はどうであるのかを項目として含めることが重要であるとする。現状が把握できなければ、対応する際の優先順位がつけられないと思う。

○委員

- ・これからは文化財を積極的に利用および活用していく必要があるのではないか。他県の事例では、有料のパンフレットを設置しているところもある。

○委員

- ・データベース化の際に、地域の祭りなどについて映像を遺すことも必要ではないか。紙ベースだけでなく、音や映像の収集にもあたってほしい。教育委員会でこれから行われると思うが、できる限り地域の方もその作業に携われるようにしてほしい。活用の前に、みんなが知ることが重要であるとする。

○委員

- ・教育委員会は主体となって対応すると思われるが、地域には地方史等に興味を持っている人が必ずいる。そのような人材の掘り起こしにも取り組んでほしい。

また。子どもたちへの学習の機会の提供も重要ではあるが、自ら気づく仕組みづくりを行ってほしい。

○事務局

- ・本日のご意見内容等を踏まえ、今後、提案できるものがありましたら、お示しすることとしたい。また、委員におかれましてはそれぞれ専門分野をお持ちですので、引き続きご意見をいただきたい。